SQS-SE-09-0222

取扱説明書

JQA-QM8678

小型ポータブル洗浄機

SAZ-0608

R00　2014/6

このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、
性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、
いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

―目次―

1　安全に使用していただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～4

2　組み立て ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

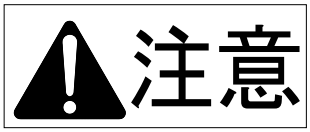
安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。
本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

●本書中で

が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。
注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

●なお、

に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので　必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。
したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものでは、ありません。
本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。
取扱店とよくご相談ください。

⚠危険

- 本機は非常に高い圧力水を発生しますので絶対に人、動物、自分の身体に向けて噴射しないでください。この洗浄機は業務用です。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- 高圧水により、人体が負傷した場合、思わぬ事態になっている事が有りますので、早急に医学的処置を必ず行ってください。
- 噴射ガンを噴射する時に高圧水による反動が有りますので両手でしっかりとガン及びランスを握ってください。
- 高所で作業する場合、足場をしっかりと固定して落下防止対策を行い、安全に作業してください。
- 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や設備から１ｍ以上離して使用してください。
- 本機のまわりに引火物を置かないでください。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
- 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- 分解や改造はしないでください。故障の原因となるばかりか危険です。分解や改造により発生した事故及び故障の責任は負いかねますのでご了承ください。

⚠警告

- 過労、病気、薬物の影響のある時、飲酒時、妊娠時は使用しないでください。
- ガン、ランス及び吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- 作業中は、高圧ホースを引っ張らないでください。
- 針金などを使ってガンのレバーを固定するようなことは絶対にしないでください。
- 車のタイヤや下回りを洗浄する際は、ノズル先端から５０ｃｍ以上離してください。
  接近しすぎると車の部品を損傷させ重大事故の原因となることがあります。

⚠注意

- 作業時は安全靴、ヘルメット、防護メガネ、防護服を着用してください。
- 作業中は、高圧洗浄機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- 水道水を使用してください。ゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- 本機使用の推奨温度は 0℃～40℃までです。吸水温度は最高 40℃までです。
- ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。0℃以下になる地域では原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。
- 空運転は絶対にしないでください。通常始動後約 10 秒程度で吸水をします。それ以上(最大１分間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
- 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合な状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機が故障する原因となります。
- アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。
- 水道は 10L/min 以上の供給水量が必要です。適した水源をご使用ください。
- 冷却を妨げる為、本機にシートやタオルを掛けたまま使用しないでください。
- 吐出ホースは伸ばした状態で使用してください。鋭角に曲げたり、踏んだりすると破裂する場合があります。なお、ホースの損傷については保証の対象にはなりません。
- 洗剤は水溶性の物をご使用ください。強酸、強アルカリ、溶剤系の物は使用しないでください。洗剤を使用される際は、必ず洗剤の用法に従ってご使用ください。
- 本機を移動するときは、ハンドルをしっかりもって、段差等に注意して丁寧に扱ってください。

⚠危険

・漏電による感電事故を防ぐ為、必ずアースを接続してください。また、漏電遮断器で保護された電源に接続してご使用ください。
・アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
・ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
・ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
・本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、高圧水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
・電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切(OFF)にし、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

⚠警告

・エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
・昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。

⚠注意

・運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
・指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。
・電源コードは巻いたまま使用せず、伸ばして使用してください。

2 組み立て

2-A　付属品の確認

本機のご使用前に付属品が正しく揃っているかを確認してください。万が一不足の場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

番号	品名	番号	品名
①	ガン	⑧	給水用ホースカプラーM
②	吐出ホース（10m）	⑨	ノズル用クリーナーピン
③	バリオジェットノズル付きランス	⑩	給水用ホースカプラーF
④	サイクロンノズル付きランス	⑪	固定用ねじ（長4本、短2本）
⑤	洗剤ボトルノズル	⑫	ホースフック
⑥	給水ホース（3m）	⑬	ガンスタンド（上）
⑦	給水ホース用ホースバンド	⑭	ガンスタンド（下）

2-B　付属品の組み付け

ご使用の前に付属品を下記の手順で組み付けてください。使用する工具はドライバー（＋）のみです。

Ⅰ．ハンドル

①本体上部のガイドに合わせ、ハンドルを本体前側から挿入する。

②固定用ねじ（短）でハンドルを固定する（2か所）。

Ⅱ．ホースフック

①ホースフックを前側から挿入し、固定用ねじ（長）で固定する。

Ⅲ．ガンスタンド（上）

①ガンスタンド（上）を図の位置に上側から差し込む。

Ⅳ．ガンスタンド（下）

①ガンスタンド（下）の前側を本体の切欠きに差し込む。

②ガンスタンド（下）の後側を固定用ねじ（長）で固定する。

Ⅴ．給水ホース用カプラーM

①給水ホース接続口のキャップを外す。

②給水ホース接続口にフィルターが付いていることを確認する。

③給水用カプラーMを給水ホース接続口のねじに合わせ、時計方向に回してしっかり固定する。

3 各部の名称

3-A　本体

3-B　アタッチメント（標準付属品）

ガン

バリオジェットノズル

4 主なる仕様と標準付属品

4-A 主なる仕様

		SAZ-0608
最大吐出圧力		7.7MPa（78.6ｋｇ／ｃｍ²）
最大吐出水量		9.4Ｌ／ｍｉｎ
ポンプ	方式	3連アクシャル型
		オイル封入密閉式
モーター	電源	単相100V （50/60Hz共用）
	出力	1.2ｋW
	ランニングアンペア	12.8A
取水方式		水道直結または容器溜め水からの自吸
寸法	全長	345mm
	全幅	400mm
	全高	855mm
	電源コード	5m
重量		8.8ｋｇ

性能の向上、改善のため上記仕様を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

4-B 標準付属品

①ガン（デッドマン方式、ロック装置付き）
②吐出ホース（10m）
③バリオジェットノズル付きランス
④サイクロンノズル付きランス
⑤洗剤ボトルノズル
⑥給水ホース（3m）

5 運転前の準備

5-A　給水用ホースカプラーＦの組み付け

①付属の給水ホースと給水用ホースカプラーＦを準備します。

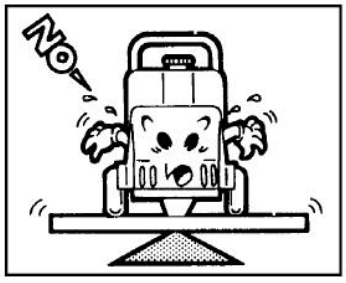
②カプラーからリングナットを緩めて取り外します。

③給水ホースにリングナットを通します。

④カプラーにホースをしっかり差し込みます。

⑤リングナットをしっかり締め付け完全に固定します。カプラーとホースを反対側に引っ張り、カプラーが抜けないことを確認します。

5-B　設置



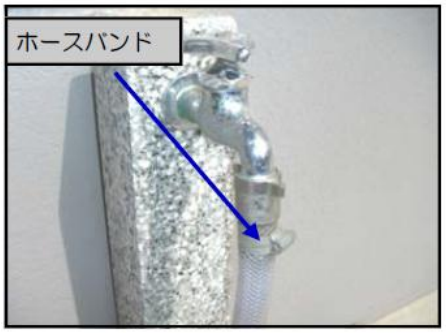
1．本機を洗浄場所に移動します。

2．水平な場所で、洗浄作業中に飛散した水などが本機に掛からない場所を選んでください。

注意：本機は立てた状態でご使用ください。運転中の振動により、床面に機械の跡が残る場合があるので、必要に応じ養生材を敷いてください。
本機は風通しの良い水平な場所でご使用ください。

5-C　給水

【標準仕様：水道直結】



1．給水ホースを蛇口に接続し、ドライバー（＋）で給水用ホースバンドを締め込み、ホースを確実に固定します。

注意：供給水量が毎分10Ｌ以上ある上水道を使用してください。水道の供給水量が少ないと吐出圧力が十分に上がらないなど、故障の原因になります。

2．給水用ホースカプラーＦを本体の給水ホース接続口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。
給水ホースとカプラーの組み付け方法は「**5-A　給水用ホースカプラーＦの組み付け**」を参照ください。

3．まだ蛇口は開けないでください。

【別売仕様：溜め水からの自吸】

本機は溜め水を吸い上げ、吐出することも可能です。その場合は別売りのサクションストレーナー　　をお買い求めいただき、以下の手順で接続してください。

1．給水ホースにカプラーを接続します「**5-A　給水用ホースカプラーＦの組み付け**」参照）。

2．給水ホースの他端にサクションストレーナーを差し込み、ホースバンドで固定します。

3．1で取り付けたカプラーを本体の給水ホース接続口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。

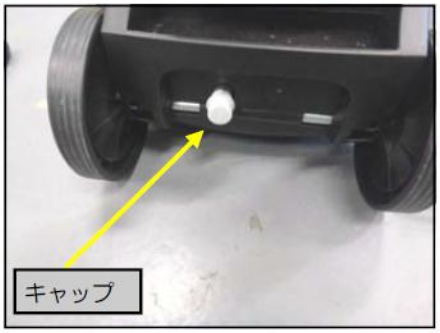
4．サクションストレーナーを溜め水が入った容器に入れます。

注意：溜め水の容器は深さは50cm以下のもので、本機と同じレベルまたは本機より高い位置に設置してください。それ以上の深さの容器や、本機より低い位置からの水の吸い上げはできません。

5-D　吐出ホース、ガンの接続

危険：ガン、ノズル＆ランスおよび吐出ホースなどの接続は緩んだり、外れたりすることのないう確実に接続してください。

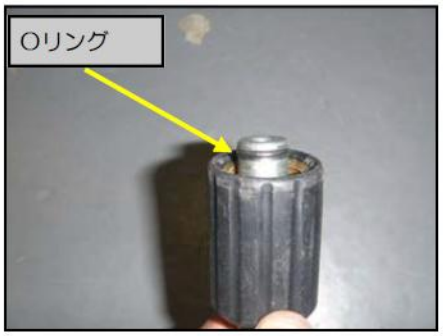
1．電源スイッチを左に回しオフ（OFF）になっていることを確認してください。
また、水道の蛇口が閉まっていることを確認してください。



2．吐出ホース接続口のキャップを取り外します。

3．吐出ホース接続口に吐出ホースの先端をしっかり差し込みます。

4．吐出ホースの接続スクリューを時計方向に止まるまで回し、確実に固定します。



参考：ホースの接続スクリューの先端にOリングを使用しています。ホースの抜き差しをスムーズにするため、定期的にOリングにグリスを塗布してください。グリスが無い状態で無理やり接続すると、Oリングが切れ、水漏れの原因となります。

5．洗浄対象にあったノズル付きランスを選択し、ガンに取り付けます。ガンの凹部とランスの凸部を合わせ、挿入します。

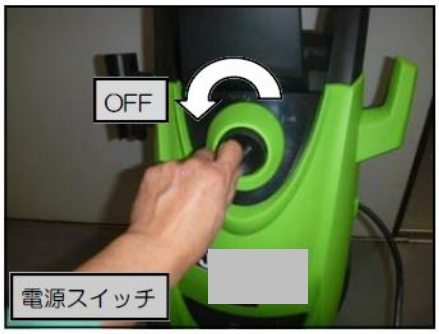
6．ガンにランスを押し込んだまま時計方向に止まるまでランスを回し、手を離すとロックされることを確認します。取り付け方法の詳細は「**5-G　ノズル&ランスの着脱方法**」を参照ください。

7．ガンのホース接続口に吐出ホースを差し込み、接続スクリューを時計方向に止まるまで回し、確実に固定します。

注意：吐出ホースやガン、ノズル&ランスの接続口は清浄に保ってください。泥や砂、異物が付着した状態で接続を行うとノズル詰まりなどの故障の原因となります。

5-E　電源の接続

危険：濡れた手で電源の接続は行わないでください。



1．電源スイッチを左に回しオフ（OFF）になっていることを確認してください。

2．電源コードのプラグをこコンセントに接続します。

5-F　ノズル&ランスに関して

本機には３種のノズル&ランスを付属しています。洗浄用途に応じて適切なアタッチメントを選択してください。なお、着脱方法は「5-G　ノズル&ランスの着脱方法」を参照ください。

1．バリオジェットノズル付きランス
このノズルは、先端のノズルカバーを回すことで、吐出する高圧水を「直噴」から「拡散」に切り替える事が出来る、最も用途が広いノズルです。
ノズルカバーを右に回すと「直噴」、左に回すと「拡散」に切り替わります。

⚠ **警告：高圧水に触れると裂傷を負う場合があるので、ノズルカバーの操作を行うときは高圧水に触れないよう十分注意してください。**
注意：ノズルカバーを強く回し過ぎると故障の原因となるので、回しすぎに注意してください。

2．サイクロンノズル付きランス
このノズルは、高圧の直噴水を回転させながら吐出させるノズルで、汚れやこびり付きがひどいものを洗浄するのに効果があります。

注意：サイクロンノズル付きランスを使用する際は、必ずノズルを下方向に向けて吐出を始めてください。上方向に向けて吐出を始めると内部部品を早期消耗させることがあります。

3．洗剤ボトルノズル
ボトルに洗剤を充填しガンに接続しトリガーを引くと洗剤の混ざった水流が低圧で噴射されます。ボトルの容量は約500mlです。
高圧洗浄前に洗剤を散布することで、洗浄効果を高めることが出来ます。

注意：必ず市販の中性洗剤をご使用ください。また、使用する洗剤の用法に従ってください。

洗剤ボトルノズルの組み付け
①ノズル、チューブ、ボトルを付属品の袋から取り出します。

②ノズルにチューブを差し込みます。チューブは洗剤吸い上げ側が斜めにカットされているので、反対側をノズルに差し込みます。

③②でチューブをつけたノズルをボトルに刺し込み、時計回りに回して取り付けます。

洗剤の充填

①洗剤を充填する時はボトルをしっかり持って、ノズル部分を反時計回りに回しノズルを取り外します。

②取り外したボトルに洗剤を充填します。

③ノズルを時計回りに回して、しっかりとボトルにノズルを固定します。

参考：洗剤ボトルノズルを使用後はボトル内に残った洗剤を捨て、ボトルを水道水で濯いでください。少量の水道水をボトルに入れて濯ぎ、ボトル内の水が無くなるまで吐出を行い、ノズル内部も濯いでください。
ボトルやノズル内に洗剤が残ったまま長期保管すると、洗剤が詰まり故障の原因となる事があります。

5-G　ノズル＆ランスの着脱方法

⚠ **危険：ノズル＆ランスや吐出ホースなどは緩んだり外れたりすることのないよう確実に接続してください。**

注意：ノズル＆ランスの着脱を行うときは、電源スイッチがオフ（OFF）になっていることを確認してください。また、給水されていないことを確認してください。
注意：ノズル＆ランスとガン双方の接合部分に、汚れや異物の付着が無いことを確認してください。
汚れや付着物がある場合は必ず取り除いてください。

①ガンの凹部とノズル＆ランスの凸部が相対するよう合わせてノズルを差し込みます。

②ノズル＆ランスをガン側へ押しながら、矢印の方向へ止まるまで回します。

③ノズル＆ランスを取り外す場合：ノズル＆ランスをガン側に押しながら、②と反対方向へ回します。

6 運転の開始

⚠ **警告：噴射方向に十分注意してください。**
人、動物、電気機器、設備などに向けて噴射しないでください。
吐出ホースやガンからの水漏れは、本機の故障を拡大させるだけでなく、危険を伴う場合があるので、水漏れや異常を感じた場合は直ちに機械の使用を中止してください。

参考：本機にはトータルストップ機能を装備しています。
トータルストップは、洗浄作業中ガンのトリガーを放すと高圧水の吐出を止めると共に、自動的にモーターの作動を停止させ、機械の無用な消耗や電気の消費を抑える機能です。
ガンのトリガーを握ると再度モーターが自動的に作動を始めます。

6-A 高圧水の吐出【標準仕様：水道直結】

1．水道の蛇口を開き、本機に給水します。

2．電源スイッチを右に回し、オン（ON）にします。

3．高圧水の吐出と停止
本機はガンのトリガー操作によりモーターの始動・停止を行い、高圧水の吐出、停止をコントロールします。

【吐出】
ガンのロックを左側から右側に押し込み、トリガーを握ります。モーターが作動し、高圧水が吐出されます。

【停止】
ガンのトリガーを放すとモーターが停止し、高圧水の吐出が止まります。

左側から押すと解除

右側から押すとロック

⚠ **警告：**
作業を中断したり、機械から離れる場合は、必ず電源スイッチをオフ（OFF）にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。
さらに、ガンのトリガーを一旦握り、内部の圧力を抜いてください。

注意：使用しない時は左図ようにガンのロックを掛けてください。
給水しない状態での運転は行わないでください。ポンプ故障の原因となります。
ホースやガンから水漏れがあると、モーターの停止が正常に行われません。その場合は直ちにスイッチをOFFし、異常個所の確認をし、水漏れを処置してください。

6-B　高圧水の吐出【別売仕様：溜め水からの自吸】

溜め水を吸い上げ吐出する場合は最初にエア抜きが必要です。以下の手順でエア抜きを行ってください。
エア抜きが不十分なまま本機を使用すると所定の性能が発揮できません。

注意：溜め水の容器は深さ50cm以下のもので、本機と同じレベルまたは本機より高い位置に設置してください。それ以上の深さの容器や、本機より低い位置からの水の吸い上げはできません。
使用水は水道水です。雨水、井戸水、工業用水、海水などは不純物が多く機械故障の原因になりますので、使用しないでください。

1．水道水が入った容器を準備します。

2．サクションストレーナー（別売り）を装着した給水用ホースカプラーＦを本体の吸水口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。
サクションストレーナーと給水ホースの接続方法は「5-C　給水【別売仕様　溜め水からの吸い上げ】を参照してください。

3．サクションストレーナーを溜め水が入った容器に入れます。

4．吐出ホースを接続しない状態で本機の電源スイッチをオン（ON）にします。本機後部の吐出ホース接続口からエア混じりの水が吐出されます。吐出が一定になったらエア抜き完了で、一旦電源スイッチをオフ（OFF）にします。

注意：水が吐出口から全く出ない状況で本機を3分以上運転しないでください。ポンプ故障の原因となります。

5．吐出ホース、ガン、ノズル＆ランスを本機に接続します。

6．電源スイッチをオン（ON）にし、ガンのトリガーを握り高圧水を吐出させます。吐出水が安定したら洗浄作業を開始してください。

6-C　作業の中断

⚠ **警告：作業を中断したり、機械から離れる場合は、必ず電源スイッチをオフ（OFF）にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。**
さらに、ガンのトリガーを一旦握り、内部の圧力を抜いてください。

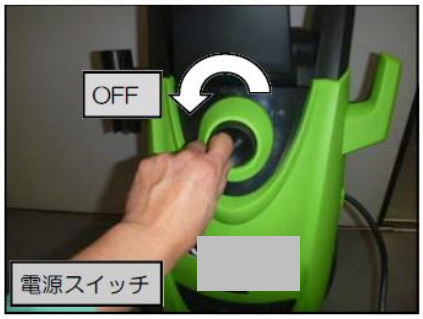
1．電源スイッチをオフ（OFF）にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。

2．一旦ガンのトリガーを握り、ポンプおよび吐水ホース内に残っている圧力を抜いてください。

3．水道の蛇口を閉じ、本機への給水を停止してください。

7 運転の終了と保管

7-A　運転の終了



1．水道の蛇口を閉じて本機への給水を停止します。

2．ガンのトリガーを握り、ノズルから吐出が止まったら電源スイッチをオフ（OFF）にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜きます。

3．再度ガンのトリガーを握り、ポンプおよび吐出ホース内に残っている圧力を抜きます。

4．ガンのトリガーをロックします。

5．本機から吐出ホースと給水ホースを取り外し、接続口を清浄な状態に保ってください。

6．本機の給水ホース接続口と吐出ホース接続口にキャップを被せます。

7．本機やホース、ガン、ノズル＆ランスに付着した水滴や汚れは、乾いた布で綺麗にふき取ってください。

7-B　保管

本機を保管する際は、以下の点に注意してください。

●直射日光が当たらない乾燥した場所に保管してください。
●いたずら防止のため、第三者が触れない場所を選んでください。
●凍結による故障を防ぐため、氷点下になる場所での保管は避けてください。万が一、氷点下になる場所に保管せざるをえない場合は「9-B　不凍処理」を参照のうえ、不凍液処理を施してください。

8 日常の点検・お手入れ

本機を末永くご愛用いただくために、毎使用前に以下の点検を行ってください。

⚠ **警告：点検やお手入れを行う場合は、必ず電源スイッチをオフ（OFF）にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いた状態で行ってください。**

8-A　外観点検

本機全体を目視し、カバーやシャーシ、車輪などに、亀裂や変形、損傷がないか点検してください。

また、異物や汚れが付着している場合は、濡れたタオルなどで綺麗にしてください。
特に、給水ホース接続口や吐出ホース接続口は清浄にしてください。

8-B　ホース類の点検

付属のホースに亀裂や変形、破損がないことを目視にて点検してください。
亀裂や変形、破損など異常がある場合は、破裂などの危険があるので、使用せず新しいホースに交換してください。

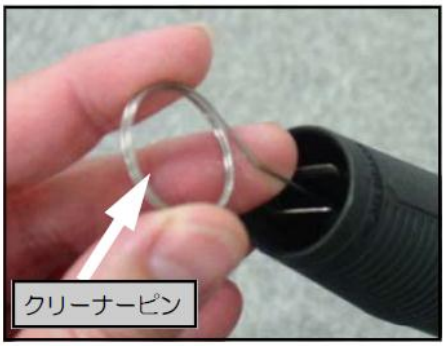
ホース接続スクリューの先端のOリングに切れや異常な摩耗がないか点検してください。また定期的にOリングにグリスを塗布してください。

8-C　ガンやノズル＆ランスの点検

ガンやノズル＆ランスの外観を目視し、亀裂や変形、損傷がないか点検してください。亀裂や変形、破損などの異常がある場合は、使用せず新しい物に交換してください。

ノズル＆ランスの接続部位のOリングに切れや異常な摩耗がないか点検してください。また定期的にOリングにグリスを塗布してください。

8-D　ノズルの点検



ノズルに異物が詰まっていないか点検してください。

⚠ **警告：ノズル用クリーナーピンの先端は鋭利になっていますので、取扱および保管時は指や手などを刺さないよう充分注意してください。**

注意：ノズルの掃除は必ず付属の「ノズル用クリーナーピン」を使用してください。
針金などを使用すると、ノズルを傷付け圧力低下の原因となります。

1．ノズル＆ランスをガンから取り外します。

2．先端から内部のノズル孔を目視し、詰まりが無いか確認します。

3．詰まりがある場合は、付属の「ノズル用クリーナーピン」を用いて掃除してください。

4．ノズルのつまりが無くなったら、ノズルの先端から流水を掛け、ランス内に残っている異物を流します。

9 寒冷地での使用・不凍処理について

9-A　やむを得ず氷点下で作業をする場合

1．前回使用後に不凍液処理を施していない場合、使用前に必ず暖房設備のある暖かい室内に置いて、本体、吐出ホース、給水ホース、ガンおよびノズル＆ランスなどを十分に暖めてください。この時、吐出ホースにひび割れや水漏れがないかを確認してください。

2．吐水ホースが弾性を取り戻し、各部の凍結が完全になくなってから、次項「9-B　不凍処理」の項を参照し不凍液処理を施し、本機を作業現場に搬出してください。
注意：不凍液処理を施さず、氷点下の作業現場に搬出すると凍結します。

3．作業中は吐出作業を中断しないよう、連続吐出で行ってください。
注意：ホースを含む本機の水経路内が凍結したまま運転しますと、損傷しますので十分注意してください。

9-B　不凍処理

凍結の恐れがある場所に本機を保管する場合は、必ず以下の手順で不凍処理を行ってください。
注意：本機およびホースなどに残った水が凍結すると、これらを故障させる事があります。

1．５Ｌ程度の希釈した不凍液をバケツなどの容器に準備してください。
（不凍液の希釈はお使いになる不凍液の用法に従ってください。）
注意：不凍液を入れる容器は事前によく洗浄し、砂塵や異物が混ざらないようにしてください。砂塵や異物が混ざると本機に吸い込み、故障の原因となります。

2．水道の蛇口を閉じて本機への給水を停止し、電源スイッチをオフ（OFF）にしてから電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。

3．水道の蛇口から給水ホースを取り外し、用意した不凍液の容器に給水ホースの先端を入れます。

4．電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをオン（ON）にします。本機を運転し、不凍液を入れた容器の中に吐出させ不凍液を循環させてください。

5．ノズル＆ランスを外してガンのトリガーを引き、不凍液がガンから吐出されるようになったら、数回ガンのトリガーのオン（ON）/オフ（OFF）を繰り返し、約１～２分間不凍液を循環させたら完了です。
注意：不凍液が飛び散ることがあるので注意してください。

6．不凍液の容器から給水ホースを引き上げ、ガンのトリガーを握り不凍液の吐出が止まったら電源スイッチをオフ（OFF）にして、電源コードのプラグをコンセントから引き抜いてください。

7．「7　運転の終了と保管」を参照のうえ、本機を正しく保管してください。

10 故障かなと思ったら

本機に異常が見られた時は、次の点をお調べください。それでも異常がある場合にはお買い求めの販売店、もしくは最寄りの弊社営業所までご相談ください。

こんなとき	考えられる原因	その対策
・トリガー（引き金）を握ってもモーターが始動しない	電気が来ていない	電源側のブレーカーやヒューズを点検する
	コンセントが外れている	電源コンセントに電源プラグを差し込む
	電源コードが断線している	点検・修理をご用命ください
	本体内部で断線している	
・トリガーを戻してもモーターが停止しない	水道の水量が足りていない ホース、ガン等から水漏れ	水道の蛇口を全開にする
		給水ホースが折れたりつぶれていないか点検する
	ポンプの故障	点検・修理をご用命ください
・水が出ない	給水ホースが繋がっていない	ホースを正しく接続する
	水道の蛇口が開いていない	水道の蛇口を全開にする
	ノズルの詰まり	ノズルを掃除してください
・圧力が全く上がらない ・圧力が不安定、弱い ・ポンプのノッキング ・吐出ホースおよびびガンの振動が止まらない	給水ホース接続口フィルターの詰まり	フィルターを清掃、もしくは交換する
	給水ホースの接続が不完全	給水ホースを正しく接続する
	給水ホースのひび割れ	給水ホースを交換する
	ノズルの詰まり	ノズルを清掃、もしくは交換する
	ノズルの摩耗	ノズルを交換する
	ポンプの故障	点検・修理をご用命ください
	40℃以上の温水を使用している	40℃以下の温度にする
・洗剤が吐出されない	洗剤が空になっている	洗剤を補充する
	洗剤が詰まっている	洗剤経路内を清掃、もしくは交換する
・水が漏れる	各ホースやアタッチメント類の接続が不完全	各ホースやアタッチメント類の接続を確実に行う
	本体から水が漏れる	点検・修理をご用命ください

無料修理規定

1. 保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。（以下この無償修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不都合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2. 保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内といたします。

3. 保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。
② 弊社が示す使用の限度を越える使用。
③ 弊社が認めていない改造又は変更。
④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。
⑤ 経時変化による自然変色発錆。
⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)
⑦ 天災・地変による損傷。
⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。
⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。
② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。
③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品 。

＜ご注意＞

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用の前に取扱説明書をよく読んでください。

スーパーエース高圧洗浄機
保　証　書

このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容（20 ページ記載）で保証いたします。なお、この
保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番		SAZ-0608
保証期間		製品引渡し日より起算し１年間
納入年月日		平成　　年　　月　　日
お客様	ご住所	
	お名前	
	電話番号	
納入店名	住所・店名 電話　　（　　）	

スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所　大阪府摂津市鳥飼本町５丁目 3-7
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

大　阪　工　場　大阪府摂津市鳥飼本町２丁目 2-48
〒566-0052　TEL(072)654-3990　FAX(072)653-2912

東 京 営 業 所　東京都江戸川区中央４丁目 15-13
〒132-0021　TEL(03)3653-2411　FAX(03)3653-2420

名古屋営業所　愛知県名古屋市緑区野末町 208
〒458-0915　TEL(052)626-3701　FAX(052)626-3702

札 幌 営 業 所　札幌市白石区菊水７条１丁目 1-24
〒003-0807　TEL(011)823-3661　FAX(011)823-3666

福 岡 営 業 所　福岡県粕屋郡志免町別府北３丁目 5-8
〒811-2205　TEL(092)622-6273　FAX(092)622-6279

広 島 営 業 所　広島市佐伯区五日市中央７丁目 25-23
〒811-2205　TEL(082)208-4885　FAX(082)208- 4886

サービス工場　大阪府摂津市鳥飼本町５丁目 1-7
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

沖 縄 駐 在 所　沖縄県那覇市首里当蔵町 1-18-3
〒903-0812　TEL(098)887-0089　FAX(098)887-0089

http://www.super-ace.co.jp　E-mail:info@super-ace.co.jp